



キャンプファイアー薪の組み方

国立曽爾青少年自然の家



- ①ファイアー場にあるカゴを、耐火レンガの中心においてください。※はつらつ、森には、なしカゴの中に、束から太めの薪を選んで並べてください。



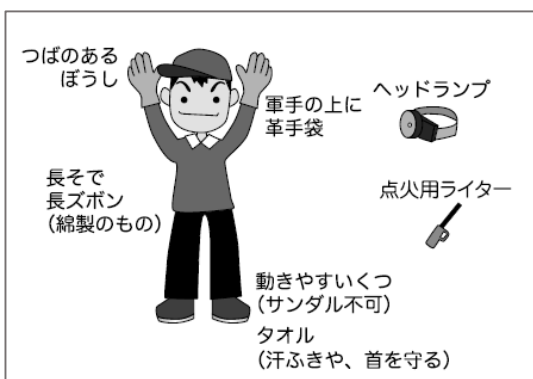
- ②新聞紙を1枚丸めて置き、その周りを細かく割った（太めの割りばし程度）薪を、並べてください。



- ③周りに井桁（いげた）状に、薪を置いていきます。傾かないように薪の太さを考えながら、組んでください。
大人の腰の高さ以上は、崩れる恐れがあり、危険です。
あとから足していくようにしましょう。
（この大きさを30分くらい持ちます）



- ④すきまなく、細めの薪が並べられていれば、灯油をかける必要はありません。
点火が不安な場合は、湿らす程度に、細薪に灯油をかけてください。



- ⑤安全のため、近くには水が入ったバケツを用意してください。
ファイアーキーパーを担当する方は、左のイラストを参考に準備をしましょう。

- ⑥薪はできるだけ燃やし切り、最後はファイアー場にある残炭入れに入れてください。
水はかけないようにお願いします。